

平成28年8月31日  
総合評価方式の活用・改善等による  
品質確保に関する懇談会

# 直轄工事における総合評価落札方式の実施状況 【平成27年度 速報版】



国土交通省 国土技術政策総合研究所

~National Institute for Land and Infrastructure Management  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism~

## 総括

平成17年に施行された「公共工事の品質確保の促進に関する法律」を受けて総合評価落札方式の導入を推進した結果、国土交通省の直轄工事では平成19年度以降ほぼすべての工事において総合評価落札方式を適用することにより、品質確保を図ってきた。

適用の拡大を進める一方、受発注者の負担増大等の課題を解消するため、直轄工事では平成25年度から、施工能力の評価と技術提案の評価に二極化する改善策を講じ、定着しつつあるが、平成27年度の実施状況を見ると、技術提案評価型A型の適用件数が少ないことやWTO技術提案評価型S型の技術評価点の1位同点者数が他のタイプと比べて多い傾向が見られる。

## 1. 経年変化等の状況

### (1) 実施状況 (P1, 2)

- ・平成27年度において、総合評価落札方式の適用率は件数ベースで99.6%、金額ベースで99.8%となり、ほぼ100%の適用状況となっている。
- ・タイプ別では施工能力評価型Ⅱ型が最も多く、件数は4,837件(全体の約7割)、金額は4,867億円(全体の約4割)である。
- ・技術提案(施工計画)を求める技術提案評価型・施工能力評価型(Ⅰ型)の合計件数シェアは約3割、合計金額シェアは6割である。

### (2) 技術提案評価型(A型)の実施状況 (P3)

- ・平成27年度は、2件の工事で技術提案評価型(AⅡ型)が適用されている。
- ・工事区分は、トンネル工事が1件、JCTランプ工事が1件であった。

### (3) 1工事あたりの競争参加者数 (P4)

- ・1工事あたりの競争参加者数は、WTO技術提案評価型(S型)が最も多く、10年前に比べ倍増している。また、工事件数の増減に伴って競争参加者数も増減している。

### (4) 技術評価点の状況(入札参加者の技術評価点得点率の分布) (P5)

- ・全工事種別における技術評価点の得点率(各社の技術評価点÷技術評価点の満点)分布については、顕著な経年変化は見受けられない。
- ・平均得点率は、平成24年度以降減少傾向にあったが平成27年度は増加に転じている。

### (5) 技術評価点の状況(入札参加者の技術評価点) (P6)

- ・WTO技術提案評価型(S型)の技術評価点1位同点者数は、平成22年度までにほぼ倍増し、その後は1.8~2.2者の間で推移している。
- ・技術評価点1位と2位の得点差は、技術提案評価型(S型)、施工能力評価型において経年でほぼ横這い傾向にある。

## 2. タイプ別適用状況と競争参加状況

### (1) タイプ別の適用状況 (P7)

- ・「鋼橋上部」と「PC」以外の工事種別は、施工能力評価型の適用が9割を超えている。
- ・「鋼橋上部」と「PC」における施工能力評価型の適用は、5～7割程度であり、残り3～5割程度の工事で技術提案評価型を適用している。

### (2) 競争参加の状況 (P8)

- ・競争参加者数は、「一般土木」、「AS舗装」、「鋼橋上部」、「PC」が多く、「維持修繕」、「通信設備」、「機械設備」の工種における競争参加者数は少ない。
- ・WTO技術提案評価型(S型)における競争参加者数は、平均16.9者と他のタイプに比べて多い。

## 3. 技術評価点の状況

### (1) 得点率の分布 (P9, 10)

#### ① 工事種別別

- ・技術評価点の得点率の平均を工事種別別に比較すると、「一般土木」、「AS舗装」、「鋼橋上部」、「PC」の得点率が比較的高い。
- ・一方、「機械設備」、「電気設備」は、得点率が低い範囲にも落札者が分布している。

#### ② 総合評価方式のタイプ別

- ・施工能力評価型は、技術提案評価型よりも落札者と非落札者の得点率の差が比較的少ない。
- ・技術提案評価型は、施工能力評価型よりも得点率の平均は高いが、落札者と非落札者の得点率の差が比較的大きい。
- ・WTO技術提案評価型(S型)の非落札者の得点率の平均は、他のタイプの落札者の得点率の平均よりも高い。

### (2) 1位同点者数 (P11, 12)

#### ① 工事種別別

- ・工事種別別では、「鋼橋上部」、「PC」において、技術評価点1位同点者が2者以上の割合が多くなっている。

#### ② 総合評価方式のタイプ別

- ・総合評価方式のタイプ別では、WTO技術提案評価型(S型)を適用した工事において、技術評価点1位同点者が2者以上の割合が多くなっている。

<b>1. 経年変化等の状況</b>	<b>1</b>
(1)実施状況	1
(2)技術提案評価型(A型)の実施状況	3
(3)1工事あたりの競争参加者数	4
(4)技術評価の状況(入札参加者の技術評価点得点率の分布)	5
(5)技術評価の状況(入札参加者の技術評価点)	6
<b>2. タイプ別適用状況と競争参加状況</b>	<b>7</b>
(1)タイプ別の適用状況	7
(2)競争参加の状況	8
<b>3. 技術評価点の状況</b>	<b>9</b>
(1)得点率の分布	9
(2)1位同点者数	11

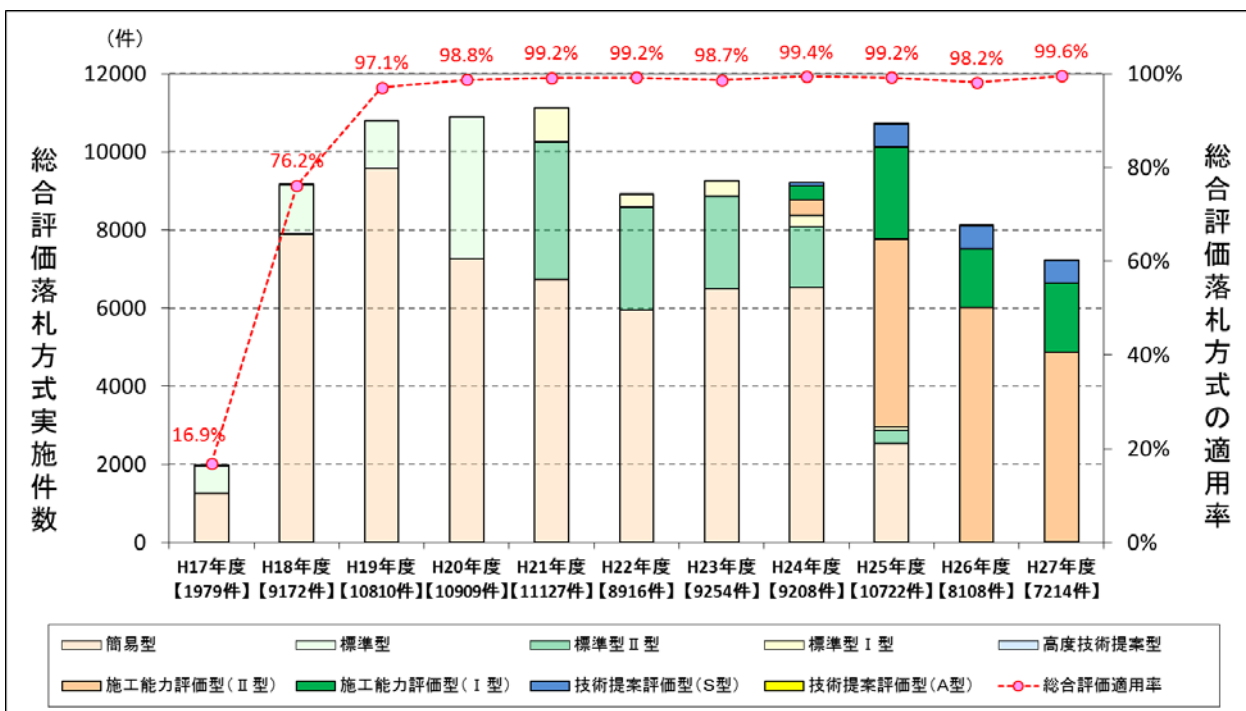
# 1. 経年変化等の状況

## (1) 実施状況

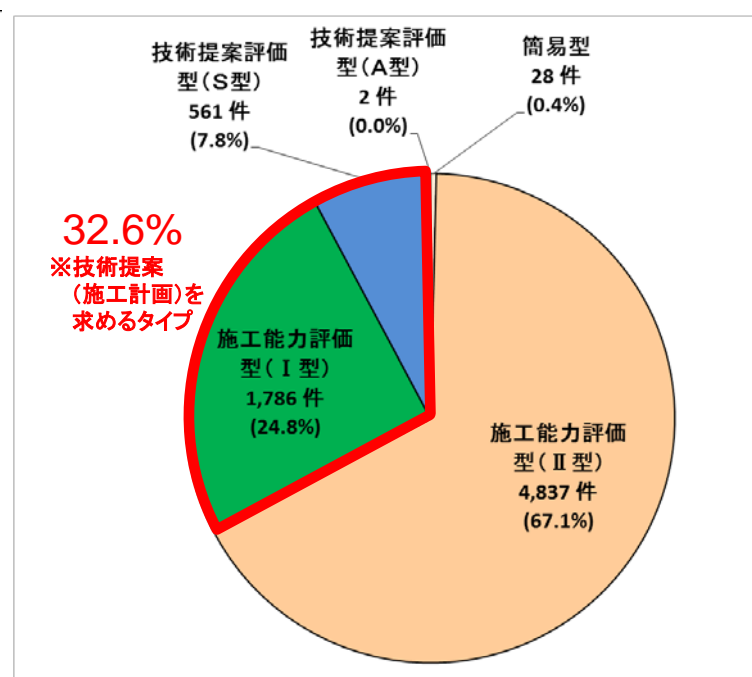
### ① 実施件数

- 平成27年度において、総合評価落札方式の適用率は件数ベースで99.6%となり、ほぼ100%の適用状況となっている。
- 平成27年度において、タイプ別で最も多いのは施工能力評価型(Ⅱ型)の4,837件(総合評価落札方式適用工事全体に占める割合67.1%)である。
- 技術提案(施工計画)を求める技術提案評価型・施工能力評価型(Ⅰ型)の合計件数シェアは32.6%である。

〔実施件数(平成17年度～平成27年度)〕



〔件数シェア(平成27年度)〕



注1) 8地方整備局の工事を対象 (港湾・空港関係工事を含む)。

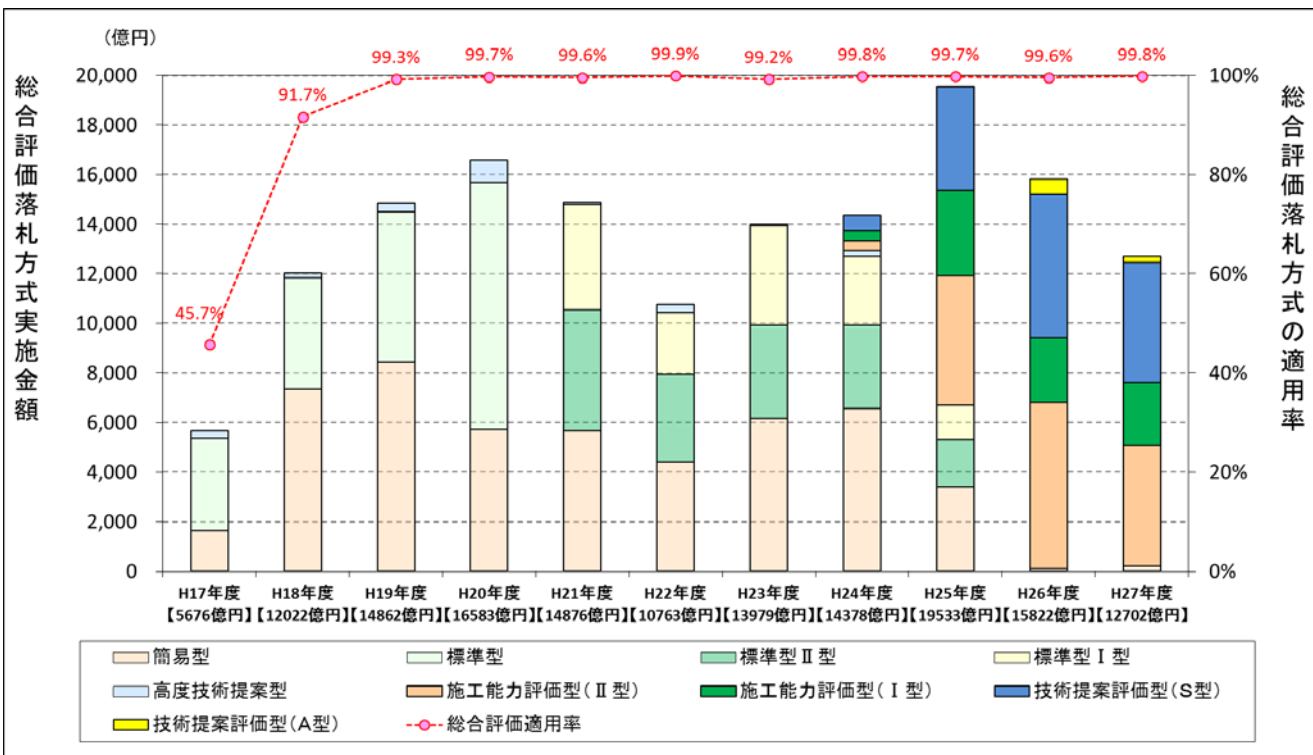
注2) 適用率は随意契約を除く全発注工事件数に対する総合評価落札方式実施件数の割合。

# 1. 経年変化等の状況

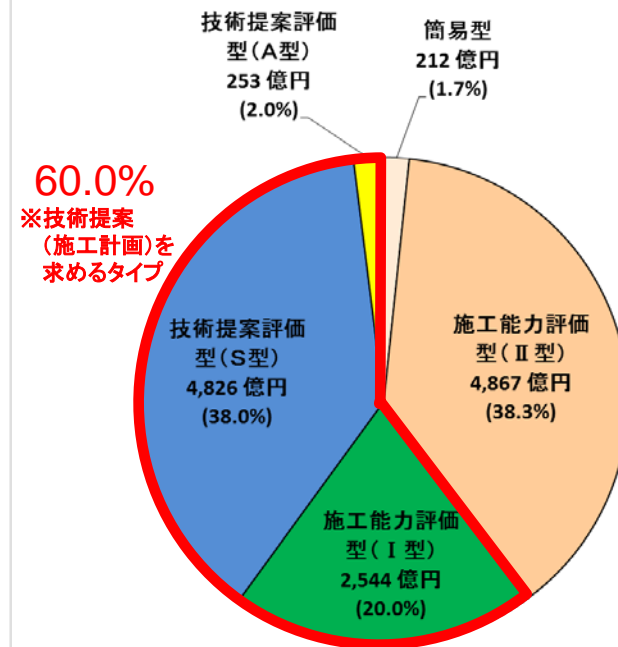
## ②実施金額

- 平成27年度において、総合評価落札方式の適用率は金額ベースで99.8%となり、ほぼ100%の適用状況となっている。
- 平成27年度において、タイプ別で最も多いのは施工能力評価型(Ⅱ型)の4,867億円(総合評価落札方式適用工事全体に占める割合38.3%)である。
- 技術提案(施工計画)を求める技術提案評価型・施工能力評価型(Ⅰ型)の合計金額シェアは60.0%である。

〔実施金額(平成17年度～平成27年度)〕



〔金額シェア(平成27年度)〕



注1) 8地方整備局の工事を対象(港湾・空港関係工事を含む)。  
 注2) 適用率は随意契約を除く全発注工事件数に対する総合評価落札方式実施件数の割合。

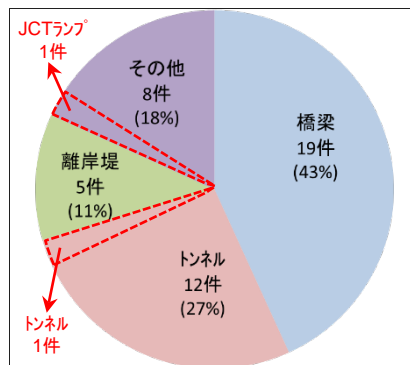
# 1. 経年変化等の状況

## (2) 技術提案評価型 (A型) の実施状況

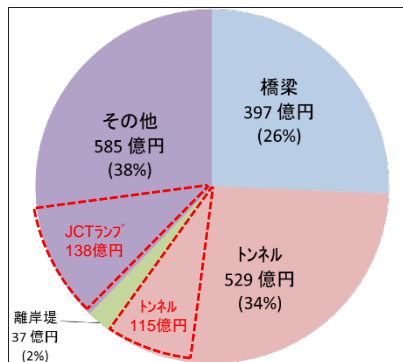
- 平成27年度は、2件の工事で技術提案評価型(AⅡ型)が適用されている。
- 技術提案評価型(AⅡ型)の適用は、橋梁、トンネルで全体の70%(件数)、60%(金額)となっている。
- 技術提案評価型(AⅢ型)の適用は、橋梁、トンネル、ダムで全体の68%(件数)、88%(金額)となっている。

### 〔技術提案評価型(AⅡ型)〕

【件数】



【金額】

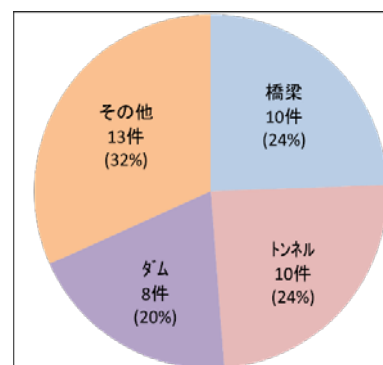


【工事区分】

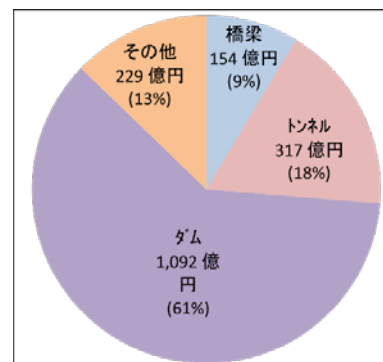
区分	件数	金額
橋梁	19件	397 億円
トンネル	12件	529 億円
離岸堤	5件	37 億円
取水設備	1件	30 億円
樋管改築	1件	6 億円
建築	1件	6 億円
地盤改良	1件	4 億円
函渠	1件	122 億円
砂防堰堤	1件	1 億円
JCTランプ	2件	416 億円
計	44件	1,548 億円

### 〔技術提案評価型(AⅢ型)〕

【件数】




【金額】



【工事区分】

区分	件数	金額
橋梁	10件	154 億円
トンネル	10件	317 億円
ダム	8件	1,092 億円
可動堰改築	2件	98 億円
計測設備	2件	9 億円
舗装	2件	4 億円
建築	1件	40 億円
U型擁壁	1件	32 億円
箱型函渠	1件	14 億円
土壌汚染処理	1件	15 億円
高水敷造成	1件	11 億円
構造物撤去	1件	2 億円
排水機場	1件	4 億円
計	41件	1,792 億円

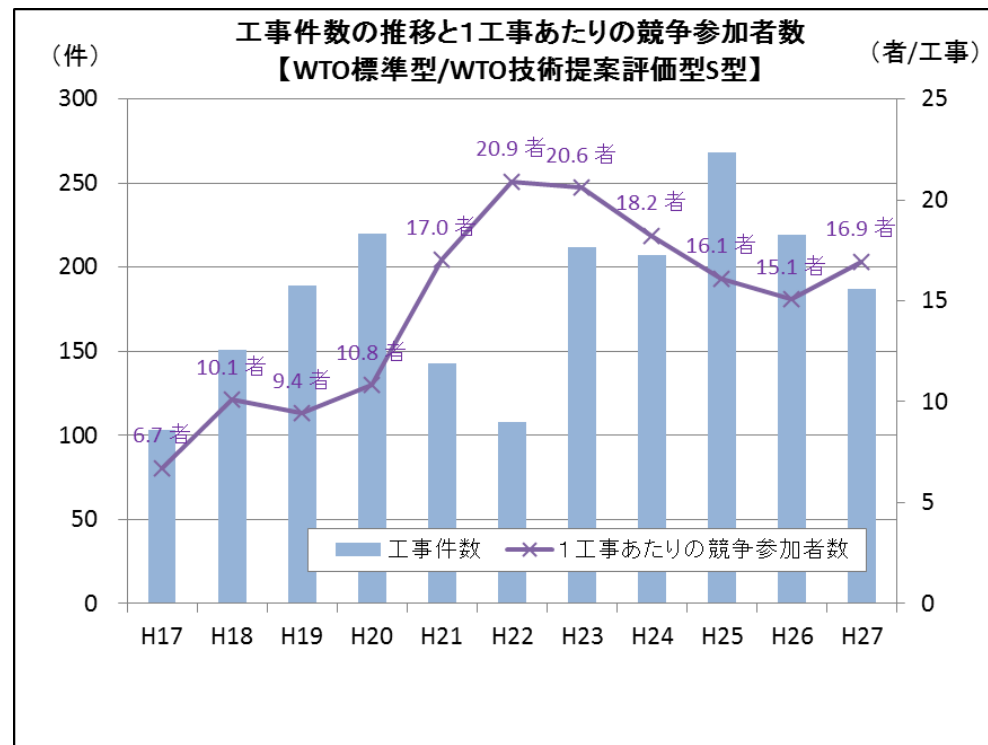
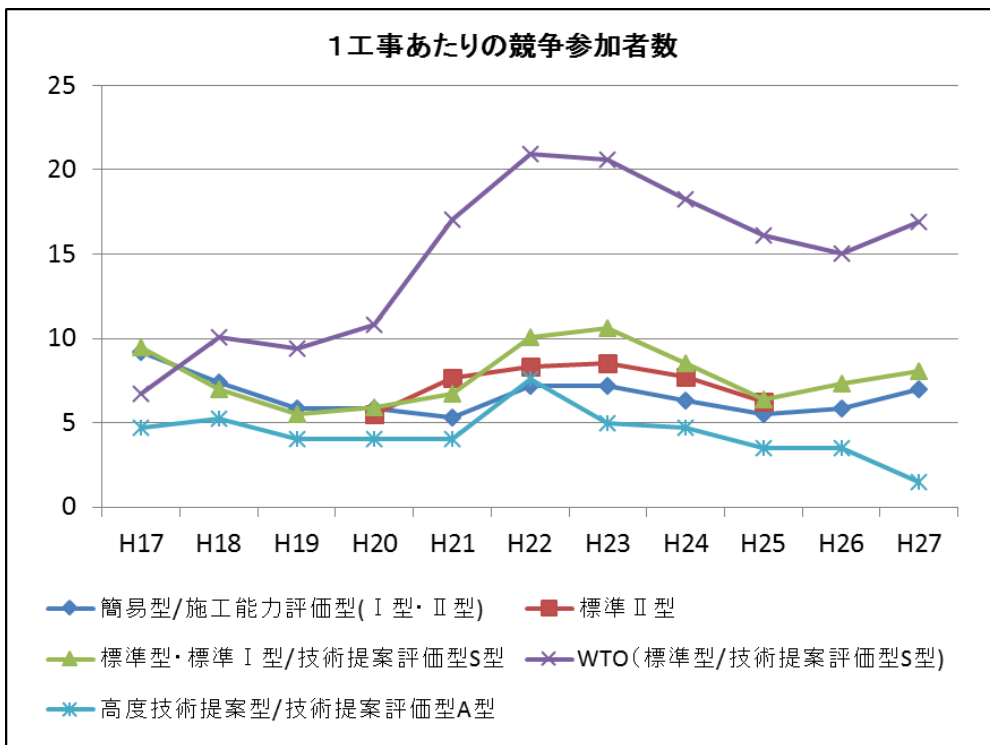

 …H27年度案件

注1) 8地方整備局の工事(H17~H27年度)を対象。(港湾・空港関係工事を除く)

# 1. 経年変化等の状況

## (3) 1工事あたりの競争参加者数

- WTO技術提案評価型(S型)において1工事あたりの競争参加者数は、平成20年度の10.8者から平成22年度には20.9者と倍増し、その後減少傾向にあったが平成27年度は再び増加に転じた。
- WTO技術提案評価型(S型)の工事件数は、平成21年度～平成22年度に減少し、その後増加したものの、平成25年度以降再び減少傾向となっている。



注1) 8地方整備局の工事を対象。(港湾・空港関係工事を除く)

注2) 価格競争を除く。

注3) 加算方式の工事を除く。

注4) 競争参加者数には、辞退・無効等及び予定価格超過者を含む。

注5) 「WTO(標準型)」は、標準I型・標準II型のうちWTOの対象工事、「WTO技術提案評価型(S型)」は、技術提案評価型(S型)のうちWTOの対象工事を示す。(以後、同様)

注6) 競争参加者数は、H22年度以前を7地方整備局で集計。

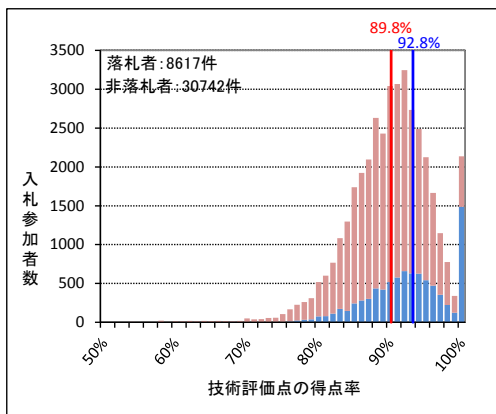


# 1. 経年変化等の状況

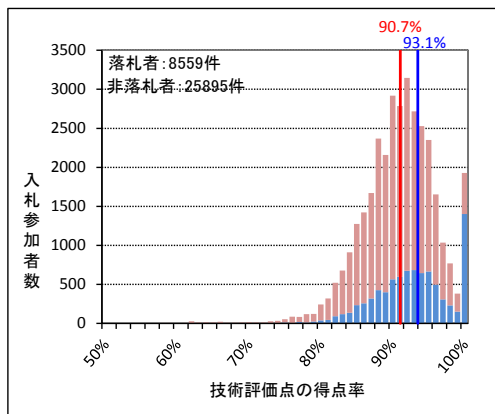
## (4) 技術評価点の状況（入札参加者の技術評価点得点率の分布）

- 全工事種別における技術評価点の得点率（各社の技術評価点÷技術評価点の満点）分布については、顕著な経年変化は見受けられない。
- 平均得点率は、平成24年度以降減少傾向にあったが平成27年度は増加に転じた。

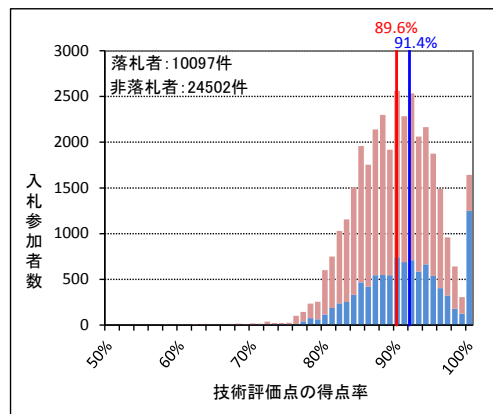
【平成23年度】



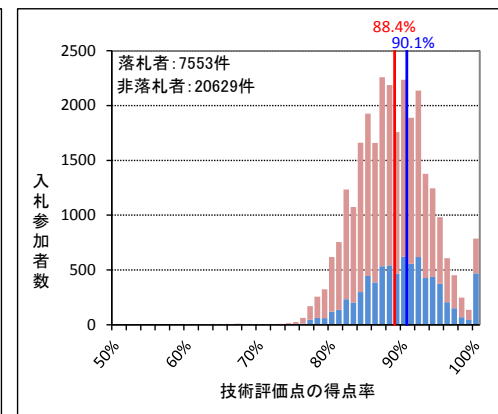
【平成24年度】



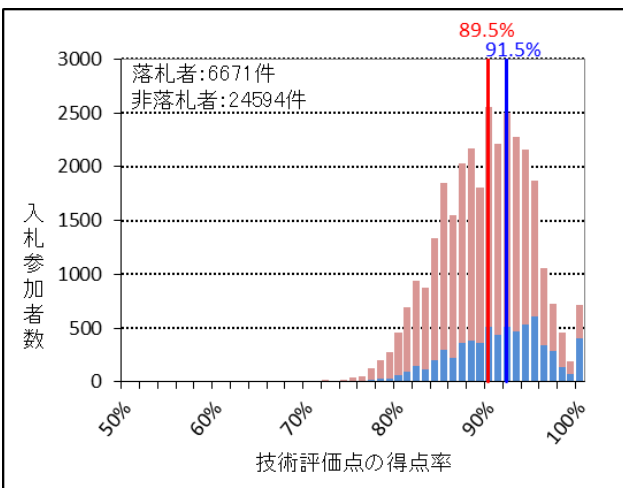
【平成25年度】



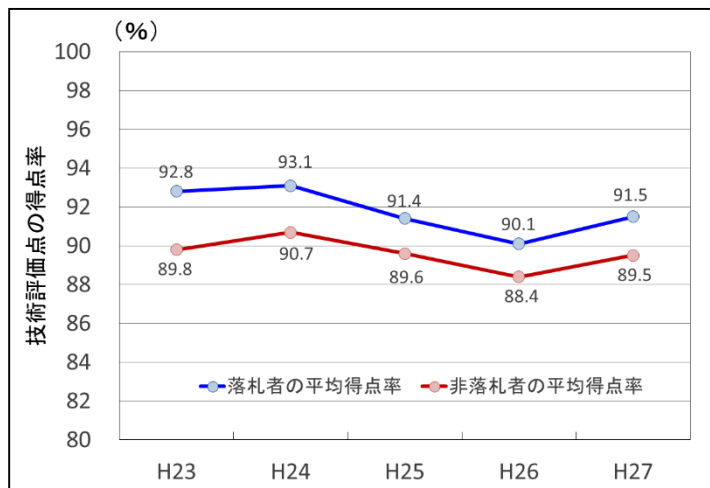
【平成26年度】



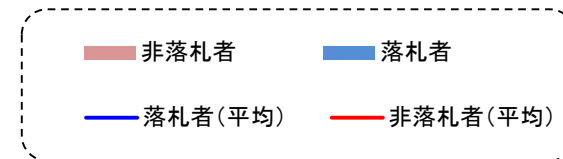
【平成27年度】



【平均得点率の経年変化】



〔凡例〕



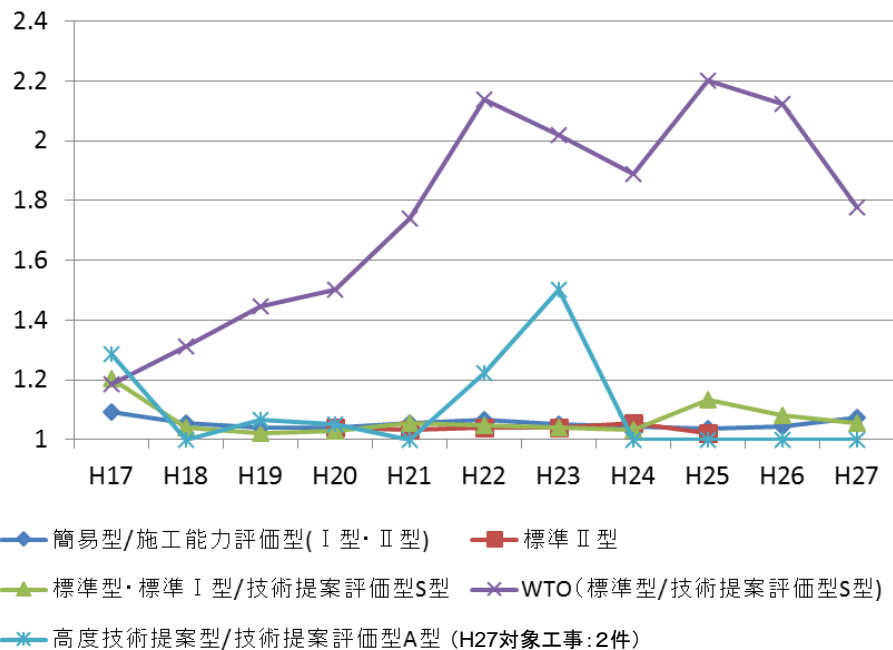
- 注1) 8地方整備局の工事を対象。(港湾・空港関係工事を除く)  
 注2) 価格競争を除く。  
 注3) 加算方式の工事を除く。  
 注4) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。  
 (ここでは更に予定価格超過者を除く。)

# 1. 経年変化等の状況

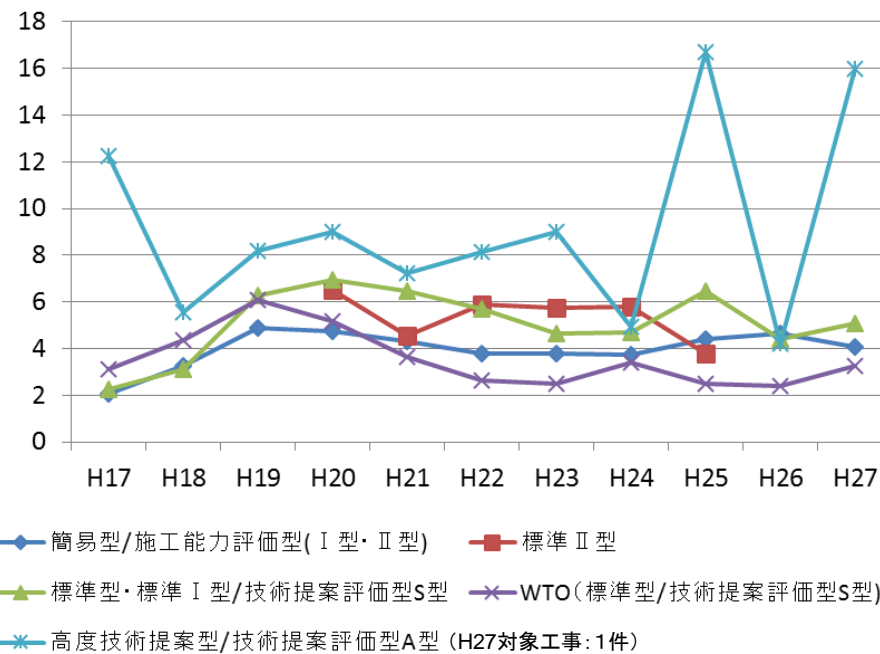
## (5) 技術評価点の状況（入札参加者の技術評価点）

- WTO技術提案評価型(S型)の技術評価点1位同点者数は、平成22年度までにほぼ倍増し、その後は1.8～2.2者の間で推移している。
- 技術評価点1位と2位の得点差は、技術提案評価型(S型)、施工能力評価型において、経年でほぼ横這い傾向にある。また、WTO技術提案評価型(S型)は、平成24年度以降減少傾向にあったが、平成27年度は再び増加した。

技術評価点1位同点者数



技術評価点1位と2位の得点差



注1) 8地方整備局の工事を対象。(港湾・空港関係工事を除く)  
 注2) 価格競争を除く。  
 注3) 加算方式の工事を除く。

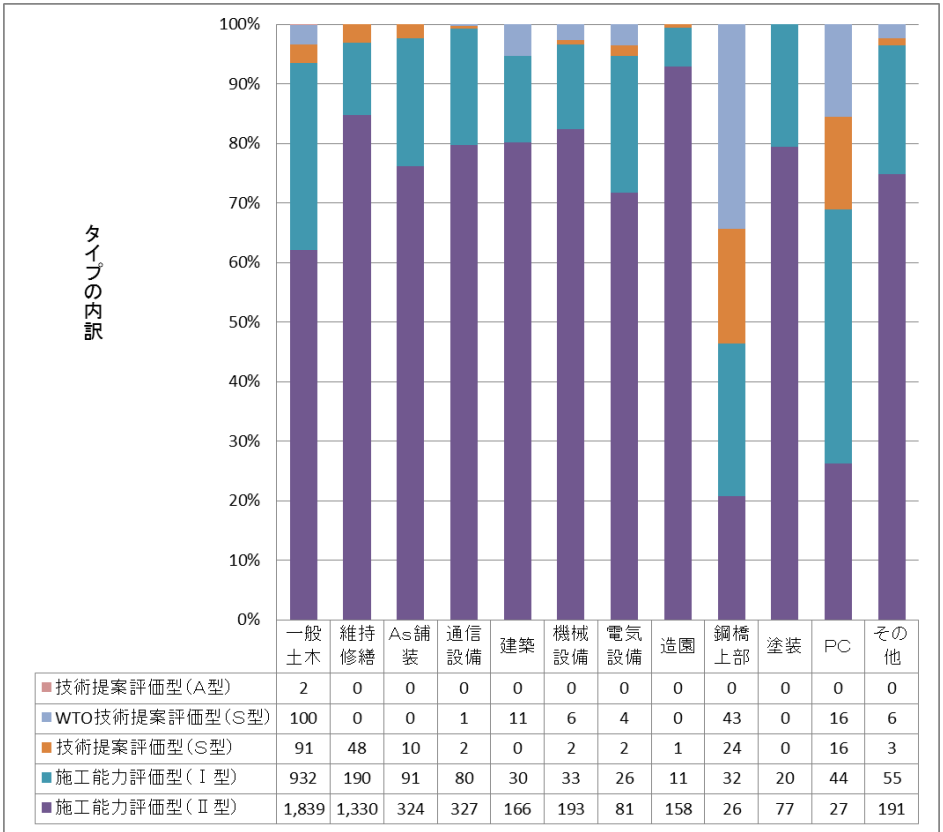
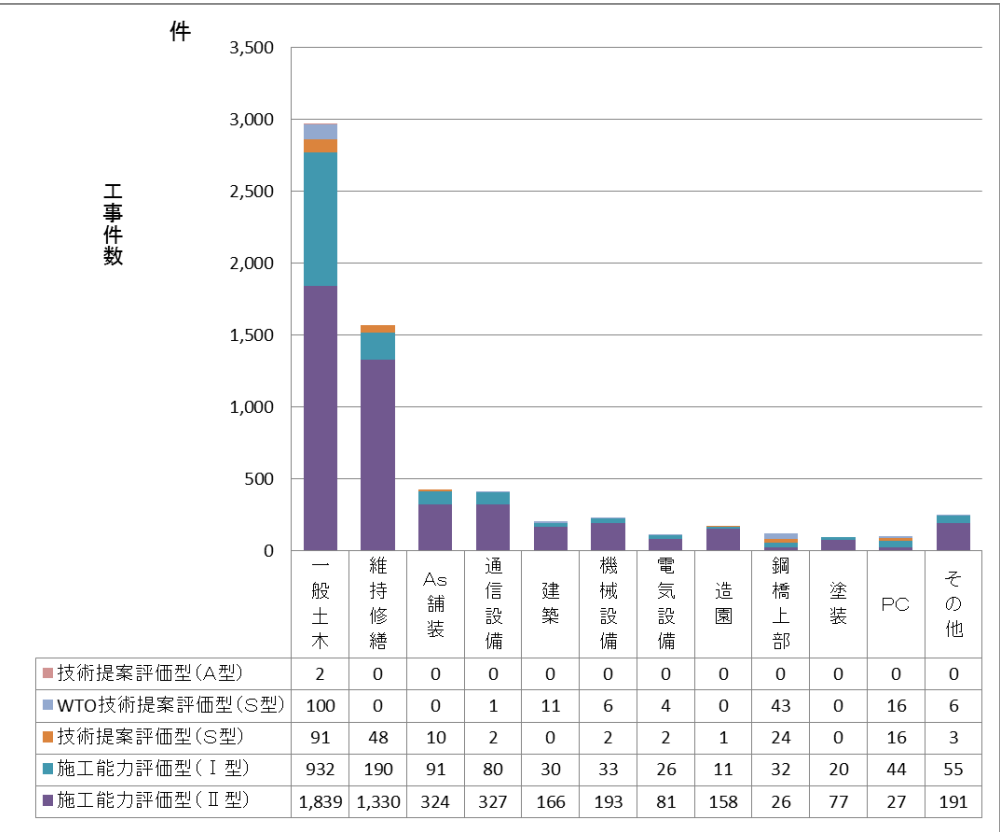
注4) 技術評価点の順位は、辞退・無効等及び予定価格超過者を除き判定。  
 注5) 技術評価点1位と2位の得点差は、1位同点が複数者いる工事を含み予定価格内1者の工事は除き集計。

# 2. タイプ別適用状況と競争参加状況

## (1) タイプ別の適用状況

- 「鋼橋上部」と「PC」以外の工事種別は、施工能力評価型の適用が9割を超えている。
- 「鋼橋上部」と「PC」における施工能力評価型の適用は、5～7割程度であり、残り3～5割程度の工事で技術提案評価型を適用している。

工事件数:6,671件



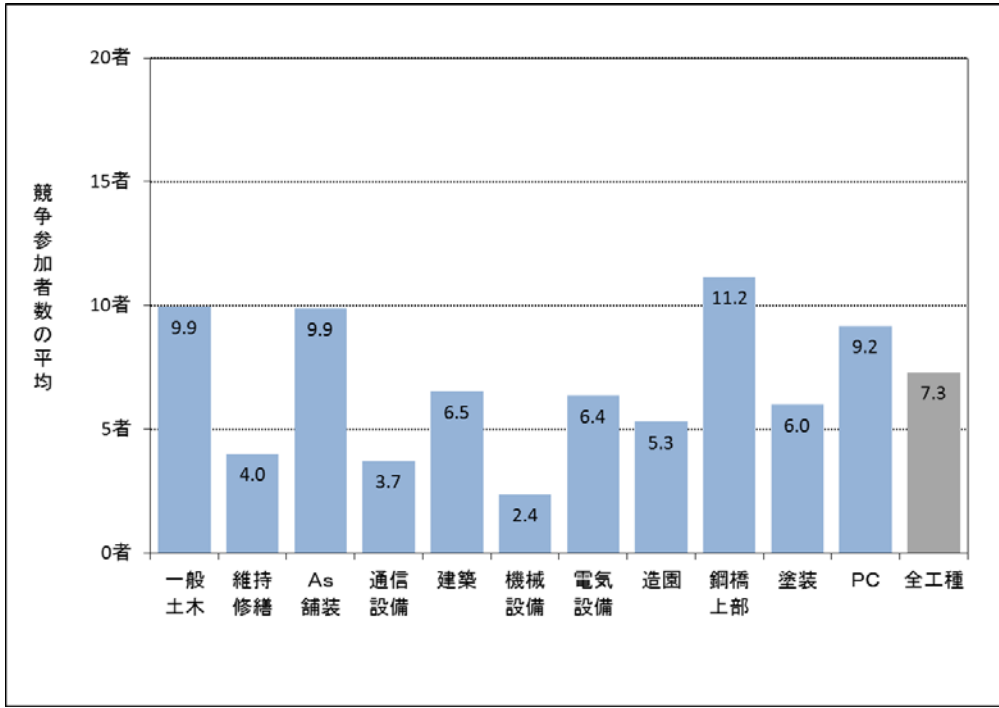
注1) 8地方整備局(港湾空港関係工事を除く)の平成27年度契約工事を対象。

# 2. タイプ別適用状況と競争参加状況

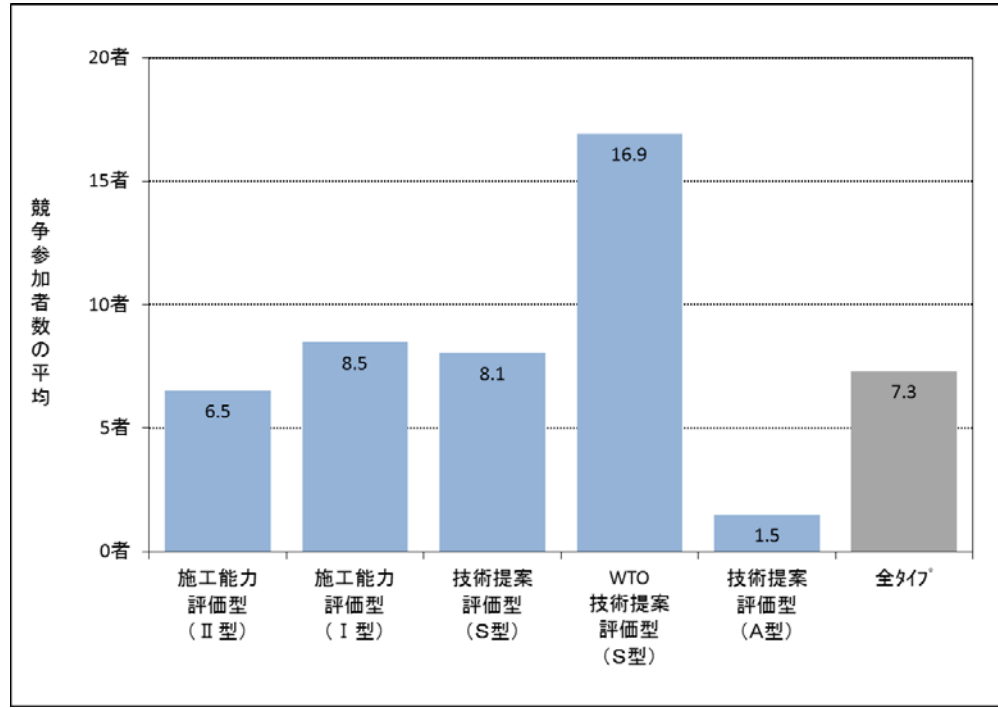
## (2) 競争参加の状況

- 競争参加者数は、「一般土木」、「AS舗装」、「鋼橋上部」、「PC」が多く、「維持修繕」、「通信設備」、「機械設備」の工種における競争参加者数は少ない。
- WTO技術提案評価型(S型)における競争参加者数は、平均16.9者と他のタイプに比べて多い。

### ① 工事種別別



### ② 総合評価のタイプ別



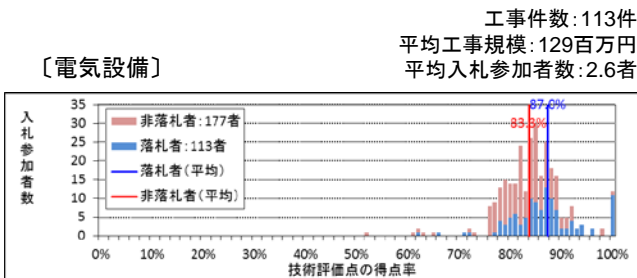
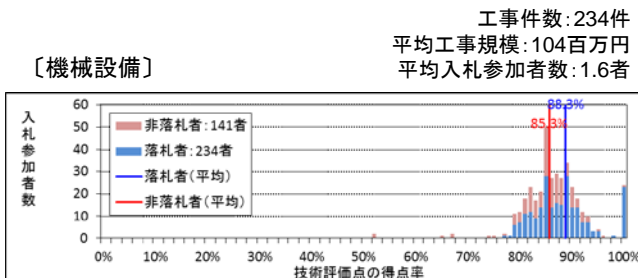
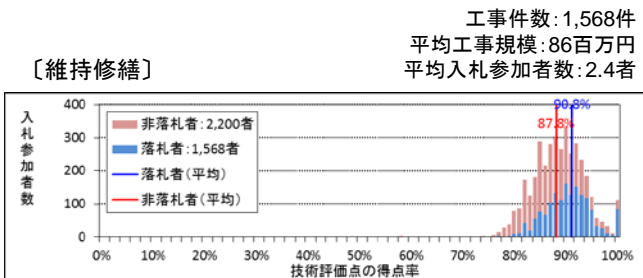
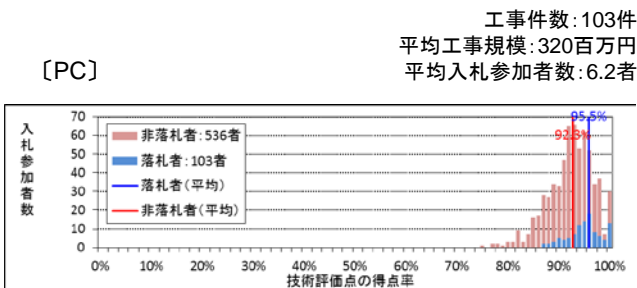
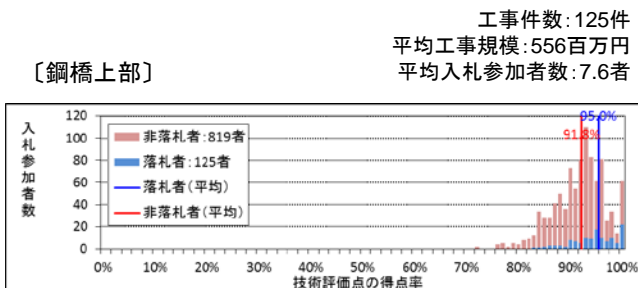
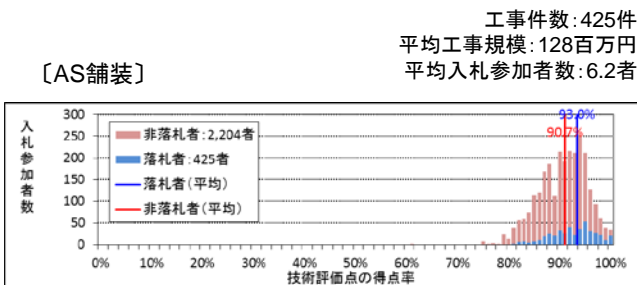
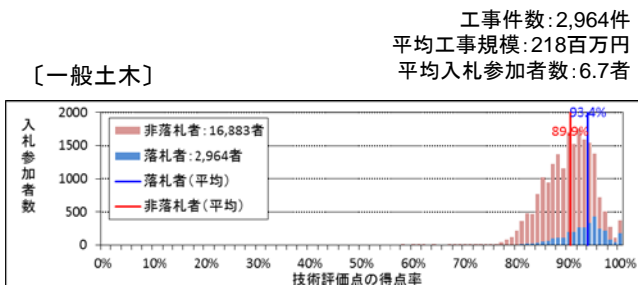
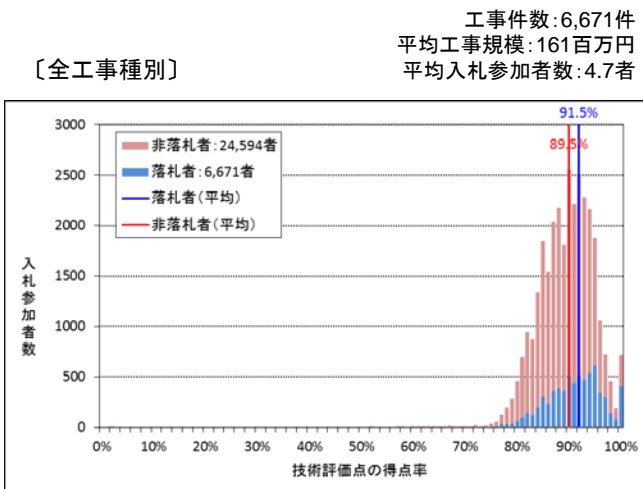
注1) 8地方整備局(港湾空港関係工事を除く)の平成27年度契約工事を対象。  
 注2) 競争参加者数には、辞退・無効及び予定価格超過者を含む。

# 3. 技術評価点の状況

## (1) 得点率の分布

### ① 工事種別別

- 技術評価点の得点率の平均を工事種別別に比較すると、「一般土木」、「AS舗装」、「鋼橋上部」、「PC」の得点率が比較的高い。
- 一方、「機械設備」、「電気設備」は、得点率が低い範囲にも落札者が分布している。



注1) 8地方整備局(港湾空港関係工事を除く)の平成27年度契約工事を対象。  
注2) 価格競争を除く。

注3) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。  
(ここでは更に予定価格超過者を除く)

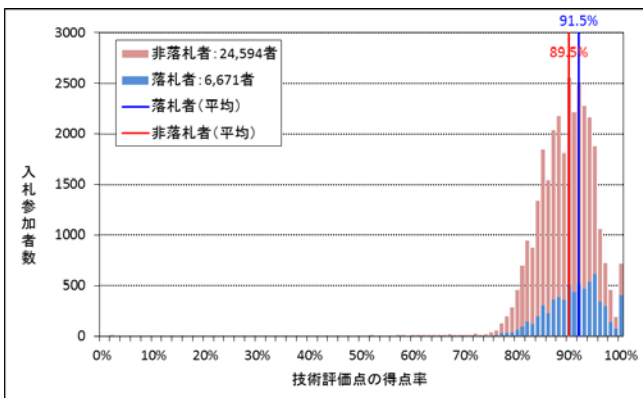
# 3. 技術評価点の状況

## ②総合評価方式のタイプ別

- 施工能力評価型は、技術提案評価型よりも落札者と非落札者の得点率の差が比較的少ない。
- 技術提案評価型は、施工能力評価型よりも得点率の平均は高いが、落札者と非落札者の得点率の差が比較的大きい。
- WTO技術提案評価型(S型)の非落札者の得点率の平均は、他のタイプの落札者の得点率の平均よりも高い。

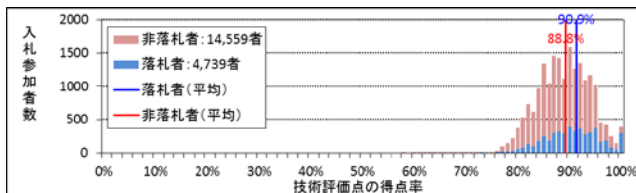
工事件数: 6,671件  
平均工事規模: 161百万円  
平均入札参加者数: 4.7者

[全タイプ]



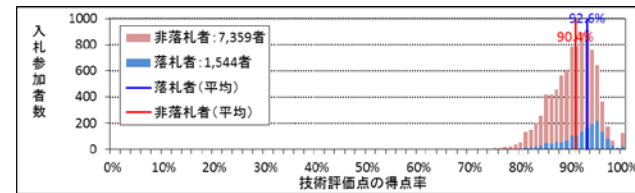
[施工能力評価型(Ⅱ型)]

工事件数: 5,862件  
平均工事規模: 131百万円  
平均入札参加者数: 4.2者



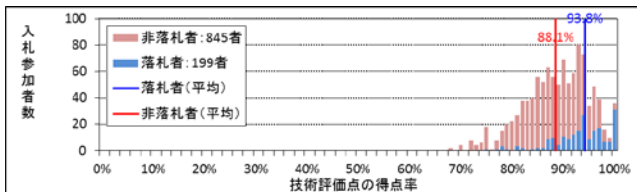
[施工能力評価型(Ⅰ型)]

工事件数: 1,544件  
平均工事規模: 144百万円  
平均入札参加者数: 5.8者



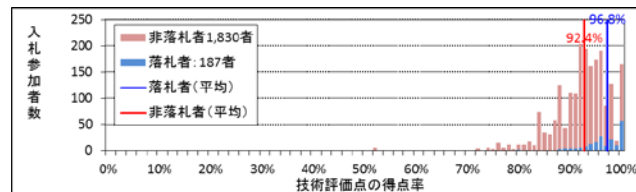
[技術提案評価型(S型)]

工事件数: 199件  
平均工事規模: 232百万円  
平均入札参加者数: 5.2者



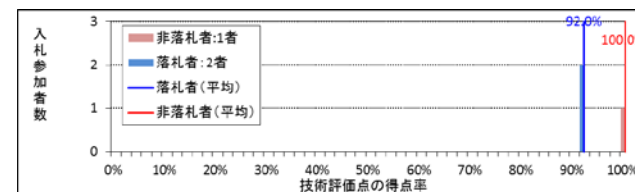
[WTO技術提案評価型(S型)]

工事件数: 187件  
平均工事規模: 1,614百万円  
平均入札参加者数: 10.8者



[技術提案評価型(A型)]

工事件数: 2件  
平均工事規模: 12,635百万円  
平均入札参加者数: 1.5者



注1) 8地方整備局(港湾空港関係工事を除く)の平成27年度契約工事を対象。  
注2) 価格競争を除く。

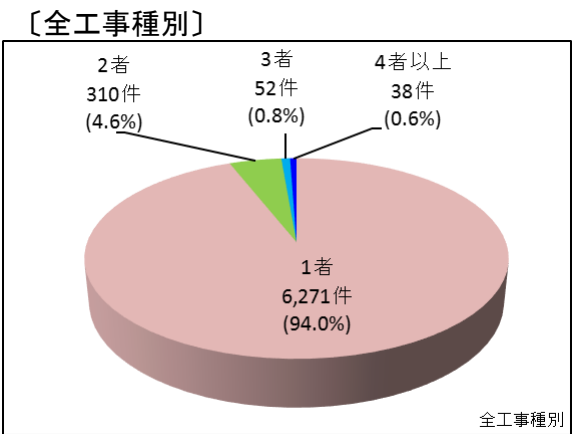
注3) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。  
(ここでは更に予定価格超過者を除く)

# 3. 技術評価点の状況

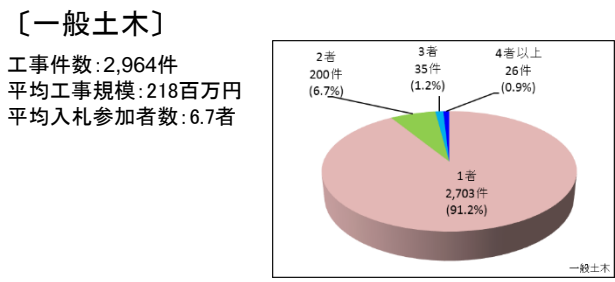
## (2) 1位同点者数

### ① 工事種別別

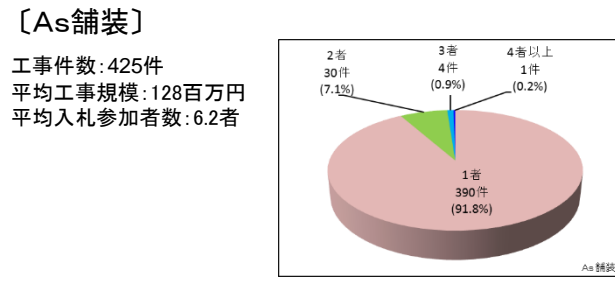
■ 工事種別別では、「鋼橋上部」、「PC」において、技術評価点1位同点者が2者以上の割合が多くなっている。特に「鋼橋上部」は、他工事種別に比べ1位同点者が4者以上の割合が多い。



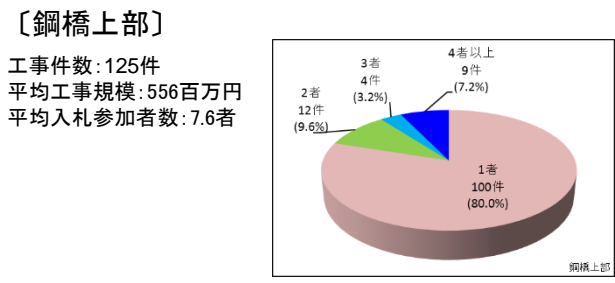
工事件数: 6,671件  
平均工事規模: 161百万円  
平均入札参加者数: 4.7者



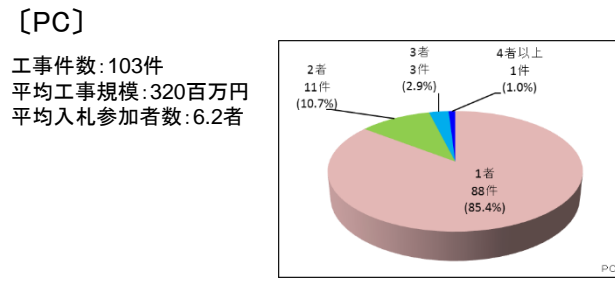
工事件数: 2,964件  
平均工事規模: 218百万円  
平均入札参加者数: 6.7者



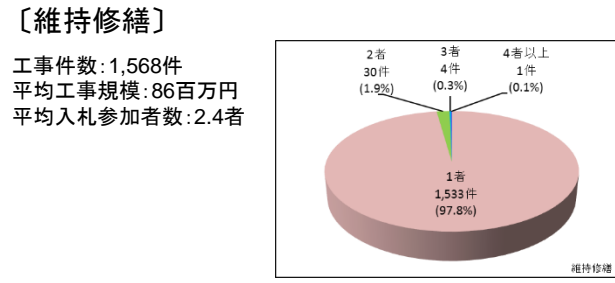
工事件数: 425件  
平均工事規模: 128百万円  
平均入札参加者数: 6.2者



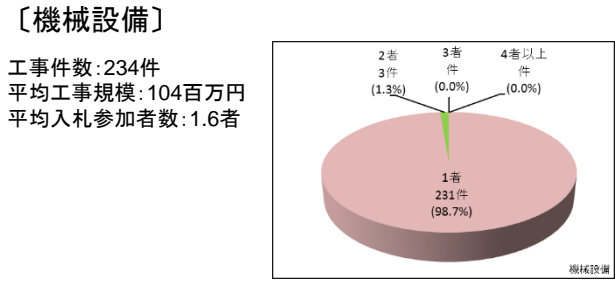
工事件数: 125件  
平均工事規模: 556百万円  
平均入札参加者数: 7.6者



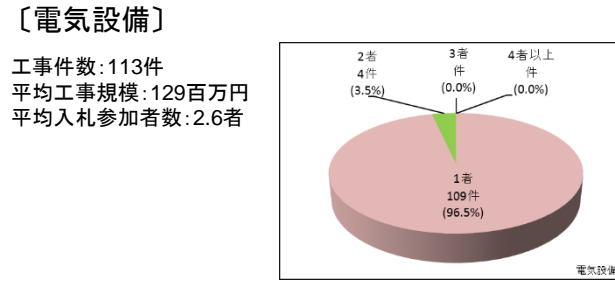
工事件数: 103件  
平均工事規模: 320百万円  
平均入札参加者数: 6.2者



工事件数: 1,568件  
平均工事規模: 86百万円  
平均入札参加者数: 2.4者



工事件数: 234件  
平均工事規模: 104百万円  
平均入札参加者数: 1.6者



工事件数: 113件  
平均工事規模: 129百万円  
平均入札参加者数: 2.6者

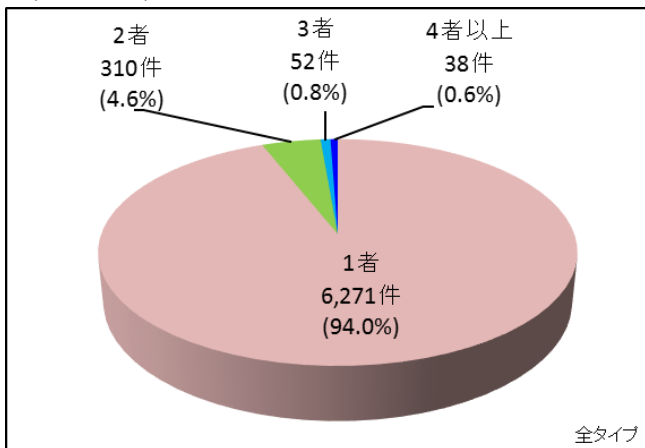
注1) 8地方整備局(港湾空港関係工事を除く)の平成27年度契約工事を対象。  
注2) 価格競争を除く。  
注3) 技術評価点1位者数は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

# 3. 技術評価点の状況

## ②総合評価方式のタイプ別

■ 総合評価落札方式のタイプ別では、WTO技術提案評価型(S型)を適用した工事において、技術評価点1位同点者が2者以上の割合が多くなっている。

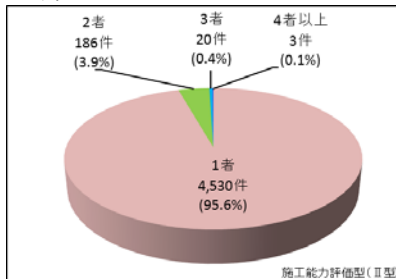
〔全タイプ〕



工事件数: 6,671件  
平均工事規模: 161百万円  
平均入札参加者数: 4.7者

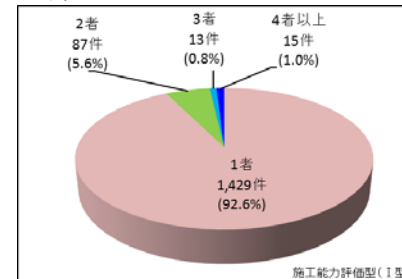
〔施工能力評価型(Ⅱ型)〕

工事件数: 4,739件  
平均工事規模: 101百万円  
平均入札参加者数: 4.1者



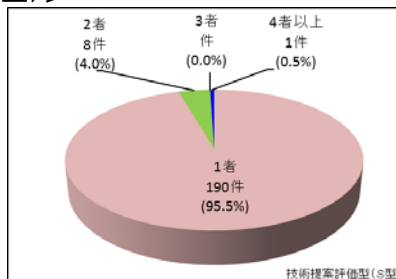
〔施工能力評価型(Ⅰ型)〕

工事件数: 1,544件  
平均工事規模: 144百万円  
平均入札参加者数: 5.8者



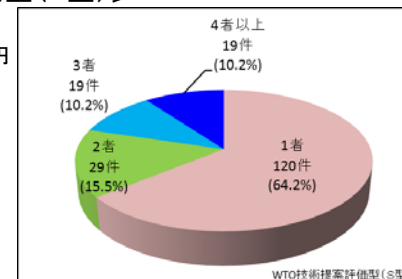
〔技術提案評価型(S型)〕

工事件数: 199件  
平均工事規模: 232百万円  
平均入札参加者数: 5.2者



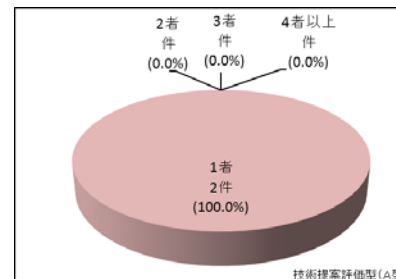
〔WTO技術提案評価型(S型)〕

工事件数: 187件  
平均工事規模: 1,614百万円  
平均入札参加者数: 10.8者



〔技術提案評価型(A型)〕

工事件数: 2件  
平均工事規模: 12,635百万円  
平均入札参加者数: 1.5者



注1) 8地方整備局(港湾空港関係工事を除く)の平成27年度契約工事を対象。  
注2) 価格競争を除く。  
注3) 技術評価点1位者数は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。